

授業科目名 (英語表記)	地域調査法 (Method of Regional Survey)		
単位数	1	授業形態	講義・演習
担当教員	藤田 和史		
開講	岸和田サテライト	区分	大学院
実施日・時間	第1・第2回：5月27日(金) 18:00~21:00	第5・第6回：6月10日(金) 18:00~21:00	
	第3・第4回：6月3日(金) 18:00~21:00	第7・第8回：6月17日(金) 18:00~21:00	
<p>【授業の概要・ねらい】 この授業は「地域とはどのようなものであり、当該地域の状況はどうかを質的・量的に把握した上で、結果をどのように解釈して、その地域をどう認識するか」という一連のプロセスにかかる能力を涵養することを目指します。そのために、地域論の学習を基礎に、状況認識のための方法論を学びます。そして、その結果の解釈について議論しながら、事例とする地域の認識を深めるトレーニングを行います。</p> <p>【授業計画】 第1回（5月27日）：地域研究と地域認識 第2回（5月27日）：地域をいかに認識するか(1) 量的情報の探索 第3回（6月3日）：地域をいかに認識するか(2) 量的情報の分析法 第4回（6月3日）：地域をいかに認識するか(3) 質的情報の探索法 第5回（6月10日）：地域をいかに認識するか(4) 質的情報の分析法 第6回（6月10日）：地域調査の設計 第7回（6月17日）：地域調査演習 第8回（6月17日）：地域調査演習</p> <p>【到達目標】 1. 地域論の系譜を説明できる。 2. 地域調査のための方法論を説明できる。 3. 具体的な地域を対象に、地域調査を設計できる。 4. 地域調査の結果に基づいて、ある地域について様態を解説できる。</p> <p>【成績評価の方法・基準】 授業中の小課題(30%)と最終レポート課題(70%)で評価します。</p> <p>【教科書】 初学者も多いため、下記のことをテキストに指定します。 野間晴雄ほか編著 2017. 「ジオ・パルNEO 地理学・地域調査便利帳(第2版)」海青社。</p> <p>【参考書・参考文献】 代表的なものとして、以下を紹介します。 村山祐司編 2003. 「地域研究」朝倉書店。 藤原建蔵編 1997. 「地域研究法」朝倉書店。</p> <p>【履修上の注意・メッセージ】 岸和田サテライトでの開講になります。また、夜間の授業になります。 授業時間外での作業が必要になります。積極的な参加を期待します。</p> <p>【履修する上で必要な事項】 BYODのPCを持参してください。</p> <p>【授業時間外学修についての指示】 授業時間外にデータの収集などの授業時に指示した課題(調査・作業)に取り組む必要があります。 また、事例とする地域に関する文献を精読する必要があります。</p> <p>【履修を推奨する関連科目】 地域解析演習など</p>			